

平成29年度 学校評価報告書

島根県立松江工業高等学校 全日課程

重点目標	(1) 人権尊重教育の推進
	(2) 規律ある生活態度の育成
	(3) 基礎学力の向上
	(4) キャリア教育の推進
	(5) 部活動の推進

4段階評価	A	ほぼ出来た	3.2 以上
	B	概ね出来た	2.6~3.2
	C	やや不十分	2.0~2.6
	D	不十分	2.0 未満

アンケート調査結果(数値1~4で回答)の平均値による区分 ※0:わからないを除く (4:よく出来ている 3:大体出来ている 2:あまり出来ていない 1:出来ていない 0:わからない)

教育目標	本年度の目標	担当分掌	項目	教職員評価	生徒評価	保護者評価	自己評価		学校関係者評価		改善策	
							評価(昨年)	結果概評	コメント	評価(昨年)		
(一) すぐれた知性 (二) 高い品性 (三) 健康な身体 次世代を担う社会に有為な形成者として、人権を尊重し人類の平和と発展に寄与できるすぐれた資質を養うため、次の三つを掲げる。	基礎学力の向上 (わかる授業・家庭学習奨励)	教務	補習授業や指導方法の改善を図る。 課題等の提出期限厳守家庭学習の習慣化を図る。	B	A		B	今年度も継続して、朝学習や定期試験前の放課後学習を学校全体で計画的に実施し、学習習慣の定着をはかった。しかしながら、家庭学習の習慣化には結びついていない。ICT機器を活用する授業が増えてきたので、研修会等を開き、効果的な活用について検討したい。	B	朝学習や放課後学習の取り組みは評価できる。家庭学習の充実には生徒の自覚が必要。これからの社会はICT活用能力が不可欠となるので、学校においても教育をさらに充実させたい。	B	朝学習や定期試験前の放課後学習は、実施方法を改善しながら今後も継続する。学習評価は引き続き改善を進める。ICTを活用した授業改善は、来年度設備が導入されるので、効果的な利用方法を検討し有効に活用する。
	キャリア教育の推進 (職業理解、進路・資格指導)	進路	「進路だより」等による地元企業の情報提供や個別面談・三者面談の充実を図る。 資格・検定情報を提供し、取得のための指導を積極的に行う。	A	A	B	B	進路ガイダンスでは、テーマを決めた企業講話の実施、各種学校における特徴ある説明、仕事に関する地元企業見学など様々な体験学習を行った。振り返りシートを通じて自己を見つめ直す機会を図り進路意識の高揚につなげることができた。資格試験・検定試験の指導は授業時や補習等を通じ各学科ともに指導を行った。学級通信、進路だよりの発行回数や保護者面談の実施回数については、学年会やクラス単位・科単位で必要性を考えて確保していく必要がある。	B	振り返りシートの活用は良い試みと評価する。学校ではさまざまな体験活動が行われている。生徒は資格や検定試験へ挑戦、取得されており、評価している。	B	進路ガイダンスや会部人材を活用した講話を充実させ、進路意識を高める。企業訪問を活発に行い、進路先開拓や継続を進め、進路実現につなげる。資格試験の情報提供をわかりやすいものに改善する。
	規律ある生活態度の定着	生徒	学校生活生活における礼節とマナーの定着を図る。 積極的な挨拶の定着を図る。	A	B	B	A	日常的な指導の継続により、挨拶の定着やマナーを身につけることが出来るようになった。生徒の自己評価も高い。遅刻や欠席も少なく約7割近くの生徒が皆勤である。頭髪服装は学期ごとの指導などで乱れが目立たなくなった。挨拶は声にするだけでなく、姿勢を正すなどより良い姿勢も見られるようになった。将来、社会人として生活していくことを考えれば、引き続きマナー指導する必要がある。学校いじめ防止基本方針の一層の定着と未然防止などの改善が必要である。	B	皆勤者も多く、服装もきちんとしている。校内で出会う挨拶がきちんとできる。校外での挨拶や休みの日の挨拶について指摘があったので改善できると良い。	B	挨拶や礼節指導は引き続き継続する。服装頭髪検査は社会人となるため必要なものとして引き続き改善をはかる。学校のいじめ問題対策について、担任、各科、係の連携や情報交換を密にし、未然防止に努める。教育相談委員会を定例化する。
	ボランティア・地域交流の推進		ボランティア活動や地域交流活動への参加を図る。	B	C	B	B	家庭科や吹奏楽部による幼稚園、保育園訪問や生徒会による学園祭への招待、地域行事への参加や総務部の地域清掃、E・D科によるプラバイルミネーション施工などボランティア活動や松住まいいきいき隊の活動等、盛んに行われている。対外的にPRを行っていないが、本校はボランティア活動で得られる心のつながりを大事にしていくことが行われている。	B	ボランティア活動や地域活動への参加は、これからの生活にもとてもよい体験となるので生徒全員が意識が持てるようになれば一層よいと思う。	A	地域の公民館との交流を継続し、生徒の地域交流の意識を高める。また、ボランティア活動への意識を高める。
	部活動の推進	生徒	部活動を奨励し、健全な心身の育成を図る。	B	B	B	B	全国大会での上位入賞をする部を筆頭に活動は盛んに行われ、それぞれに成果を挙げている。また、結果だけでなく、日ごろの生活や学習活動への波及効果もあり、指導者の意識も高い。	B	結果はもちろん、目標を持って努力することが大切。日々の努力が大切である。顧問・部員そして保護者間の共通理解を図ることが大切である。	B	顧問・生徒・保護者間で連絡を密にし、共通理解をはかって活動する。
	人権尊重教育の推進	人権	校内研修等で得た情報や知識を常に心がけ、人権に配慮した発言・指導を行う。	B	B	B	B	教職員・生徒共に研修会やHRを通して人権意識の向上に取り組んでいる。3年生2学期末の外部講師による講演会は、生徒達にとって深く印象に残ったようである。これらを継続することが必要だと考える。	B	外部講師による講演はよい企画であった。生徒にはこのような機会に学んで欲しい。	B	人権教育に関する授業や研修会を充実させる。教職員研修への出席率を向上させる。
	教育環境の整備	保健	校舎内の清掃等、環境整備が十分に行われている。	A	B	A	A	清掃活動にはまじめに取り組み、環境整備も問題ないと思われる。ごみの分別について徹底していく必要がある。	A	校舎の清掃はよくされている。	A	教室や廊下の定期的なワックスがけや安全点検による施設補修体制を維持する。日頃の清掃を大切に、校舎の美化に努める。
	保護者等との連携	総務	HP・広報活動が十分に行われている。 生徒の現状について保護者と連絡を密にし連携を図る。	B			B	中学生・保護者対象の専門高校説明会、中学校教員対象の高校説明会を昨年に引き続き実施した。また、学園祭への外部からの参加者が500名を超え、公開授業についても約150名の参観者数となり、いずれも昨年実績を超えた。今後も内容の向上を目指す必要がある。	B	広報活動はよくされていると思う。近年工業高校への認識が良くなっている。関係者の辛抱強いご努力の結果であると思います。	A	専門高校説明会を引き続き実施し、直接保護者に説明できる場で学校PRを行う。学校ホームページをリアルタイムに更新し、情報を発信する。各科のページを充実させる。